

新涼の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本県の相双地域等におきましては、東日本大震災によって、高齢者施設の中には介護職員等の不足により十分なサービスを提供できる体勢がとれず、利用者の受入れを制限せざるを得ない状況となつているところであります。

貴法人におかれましては、このような現状をご理解いただき、大変お忙しい中、本県の特別養護老人ホーム福寿園へ、八名の職員を継続してご派遣いただき心より感謝申し上げます。

今回応援をいただきました施設におきましても、職員一同心から感謝しており、これを契機としてなお一層サービスの向上に努める考えでありますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

震災から一年六ヶ月を経過し復旧・復興に向かつて進んでいる一方、原発事故は未だ収束が見えず震災が継続中というのが本県の状況であります。地道に被災・避難者が一日も早く元の生活に戻れるよう本会といたしましては支援して参りたいと思っておりますので引き続きご助言等いただければ幸いに存じます。

最後に貴法人のますますのご発展と皆様のご健勝ご活躍を祈念し御礼といたします。

誠にありがとうございます。

平成二十四年九月二十八日

福島県社会福祉協議会 会長 瀬谷 俊雄

社会福祉法人中心会

理事長 浦野 正男 様